

あさひまち



議会だより

第124号
令和7年2月

こんにちは、たのしい未来！



あさひ野小学校PTA主催
「あさひ野防災フェス2024
～親子で楽しく防災体験～」の様子

P2～5 特集（議会報告会・意見交換会）
P6～7 審議結果など
P8～14 代表質問、一般質問
P15 議会の話題
P16 議員の部屋

家に入るサルが増加。
近づくとも威嚇され、身の
危険を感じる！

畑は二の次！けが人が出る
前に対策を!!
サル対策は命に係わる問題。

南保でのサル研修会、
山崎でも開催を！

菜園がサルに荒らされ、
引きこもりの危機。電気
柵設置補助を！

クマ出没、人的被害は？
正確な情報が知りたい。

①有害鳥獣対策

サルによる住居侵入や
家庭菜園被害が急増。
住民の生活に直結する
問題であり、迅速な対
応が求められる！

一緒に考えましょ

11月16日、20名の方にご参加いただき、
皆さんからいただいたご意見・ご提案をもとに、

💡 サル被害により家庭菜園ができなくなっている

生きがいや健康づくりにも繋がるため、継続できるよう支援を！

町民からの提言

- ・サル被害により家庭菜園の継続が困難
- ・菜園は生きがいや健康づくりにも繋がるため、電気柵設置などの支援を

議会の整理と提案

- ・個人支援は公平性の課題あり
- ・生きがいや健康寿命延伸のため、家庭菜園支援の仕組みづくりは重要
- ・共同農園の設置支援ができないか
- ・新たなコミュニティ創出の可能性も期待

行政の回答

- ・有害鳥獣対策は命の安全が最優先
- ・作物栽培は免疫力向上や認知症予防に効果があるとの報告もあり
- ・過去に町民農園の区画貸しをしていた際は活気づいていた実績あり
- ・共同農園設置の可能性や支援については、必要に応じて関係課で協議



農作物被害金額の推移

朝日町における令和5年度の被害金額はおおよそ86.1万円、被害面積は0.73haとなっている。イノシシとサルによるもので、主な被害作物は水稲である。

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
被害総額	57.1	439.9	146.9	112.4	122.2	86.1
イノシシ	57.1	430.6	91.4	98.9	103.1	83.7
サル	0.0	0.0	55.5	13.5	19.1	2.4

※ 家庭菜園の被害は含まれていません

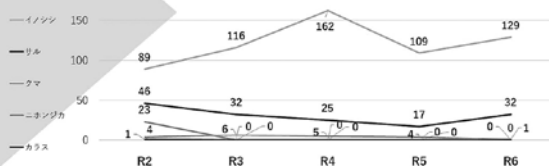
鳥獣対策の3つのポイント

Point 01 個体群の管理

鳥獣の捕獲

鳥獣被害対策実施隊員による「わなや銃」による捕獲

有害鳥獣捕獲実績数 R6.10.31現在



鳥獣対策の3つのポイント

Point 02 侵入防止対策

侵入防止柵の設置

朝日町では総額3億円をかけ全長約30kmの侵入防止柵を設置

維持管理に500円協力金 (泊2区・3区、五箇庄、大家庄)

富山県内一帯の取り組み

地区住民の追い払い

電動ハンドガン配布 R6

192,000円 (24,000円/丁×8丁)

境・宮崎・泊一区・笹川・南保・山崎に1丁ずつ

大家庄地区に2丁

ロケット花火の配布 J Aみな種からの補助



鳥獣対策の3つのポイント

Point 03 生息環境の管理

緩衝帯の整備

山林と集落の距離を保ち、見通しを良くすることで動物の出没を防ぐ

放任果樹の伐採

餌となる未収穫の果樹や農作物の撤去

サル対策研修会 9/28南保地区で開催

サルの生態やエアガンの使用方法など熟知されました



う！～町の課題解決～

議会報告会＆意見交換会を開催しました。

12月議会にて議論！進展状況の一部を紹介します。

💡 街中に出没していたクマの状況把握と対策は？

町民からの提言

- ・クマの動向把握や安全確保の取り組みを具体的に知りたい

議会の整理と提案

- ・電気柵設置ができない河川から住宅地へ侵入。隠れ家となる河川の雑木等の除去を

行政の回答

- ・警察官が常駐しドローン等でクマの動向を監視、随時通行止めを実施
- ・宅地跡に残る柿の木が餌場となっていた
- ・河川の災害対策と有害鳥獣対策を一体的に進める必要がある
- ・二級河川の管理者である富山県は、土砂・雑木除去を計画的に実施
- ・町は重要要望事項として毎年、県に要望

町民の不安

- ・サル：家屋侵入や威嚇が多発、けが人の発生が懸念
- ・クマ：食糧不足で冬眠できず、冬季出没の可能性あり

議会の対応

- ・全国的な問題、引き続き行政と連携しながら住民の安全を守るため対応策を研究

電動マシンガンによる威嚇



皆さんからいただいたご意見

特定空家から羽アリ被害！駆除費用もかかり、身の危険も。行政代執行はいつ？

空き家になる前に準備を。遺言を残してもらっては？

町の空き家対策は十分か？議会としての現状認識は？

行政がホームレスなどに無償貸し出ししては？

② 空き家対策

全国的な課題である空き家問題。家は個人の財産であり、行政の対応には限界がある。住民と共に解決策を考え、地域で協力し合うことが必要。

一緒に考えましょ

11月16日、20名の方にご参加いただき、皆さんからいただいたご意見・ご提案をもとに、



町民からの提言

- ・周辺住民が安心して暮らせるよう早急に撤去を

議会の整理と提案

- ・所有者へ空き家管理徹底の周知を
- ・特定空家の取り壊しは、どのような基準で優先順位を決定するのか
- ・行政代執行に至るまでの手順と必要な期間は
- ・取り壊し費用は誰が負担するのか

行政の回答

- ・固定資産税の通知に、空き家管理の責務や損害賠償の可能性を明記したチラシを同封
- ・現在8件の特定空家があり、老朽具合と緊急度を建築士が調査中
- ・調査資料を基に、R7年2月開催予定の空き家等対策審議会の方針を審議予定
- ・取り壊しは助言または指導、勧告、命令、代執行の順で進める必要があり、各段階の間には法律で定められた『相当の期間』を置く必要がある
- ・H29年に認定した物件もあり、期間も経っているためR7年度から順次執行できるよう空き家等対策審議会へ諮っていきたい
- ・代執行費用は所有者へ請求



特定空家いつ撤去？

町民からの提言

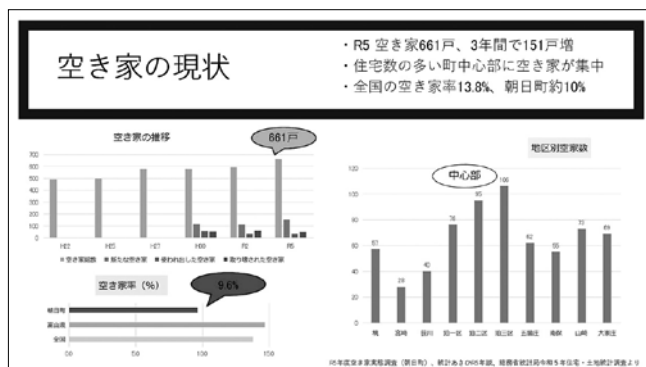
- ・自分が亡くなった後、この家をどうするか遺言を

議会の整理と提案

- ・相続人がなく、管理・処分できない不動産が急増することが予想される。町が主体となり空き家バンクに登録できないか
- ・終活に関する啓発を進め、財産管理や相続について具体的な対応を促す機会を

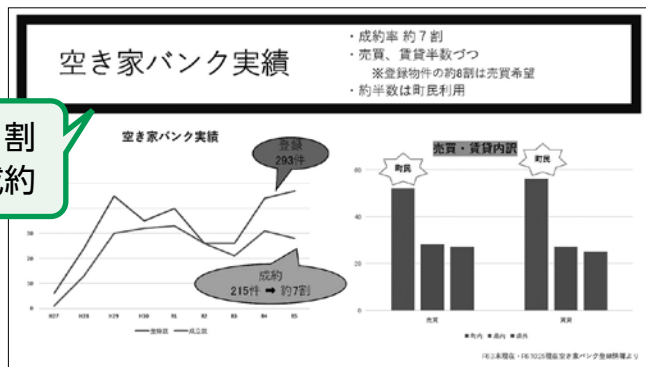
行政の回答

- ・相続人不存在の空き家でも個人財産であり、遺志があったとしても町が主体となる空き家バンク登録は難しいが、研究を進める
- ・家じまい、墓じまいを含めた具体的な終活に関する講習会を実施予定



空き家対策3つのアプローチ

- ① 空き家を出さない
「住み続けられる環境を整える」
※暮らしやすさ・快適住まいリフォーム支援
- ② 空き家を活用する
「次の所有者へつなぐ」
※空き家バンク・家財道具処分支援
- ③ 空き家を売却する
「危険な空き家の撤去」
※老朽空き家解体補助



今後の空き家対策と町の未来

- ・空き家、毎年50件ずつ増加
- ・65歳以上一人暮らし世帯、約1,000人
- ・それぞれの立場でできることは??

皆さんのご意見・アイデアお聞かせください!!

う！～町の課題解決～

議会報告会 & 意見交換会を開催しました。
12月議会にて議論！進展状況の一部を紹介します。

行政代執行に至るまで

現地調査・確認

空き家の状態を調査し、危険性や周辺環境への影響を評価

↓ Next Step

所有者への助言・指導

空き家の適正管理を促すため、所有者に連絡し対応を求める

↓ Next Step

特定空き家に認定 助言または指導・勧告

所有者へ除却・修繕・周辺環境の保全の助言・指導、改善されない場合は勧告し、固定資産税の優遇が除外されることを通達

↓ Next Step

意見書等提出の機会

措置を命ずる前に通知し、意見書及び自己に有利な証拠を提出する機会を設ける

↓ Next Step

命令 標識の設置及び命令が出ている旨を公示

↓ Next Step

行政代執行

法律に基づく手順に従い、改修や撤去を自治体が代行、費用は所有者に請求

※費用の徴収は、財産の差押えを含む強制徴収が認められているが、求償困難なケースも多く、最終的に自治体が負担することも

とくていあきや
? 特定空き家 ?

ぎょうせいだいしっこう
? 行政代執行 ?

町民の声

・日本全国で様々な空き家対策が実施、議会は十分に検討し町政に働きかけているのか

議会の対応

・町政と連携し、他地域の取り組みを引き続き研究・検討する

12月定例会審議結果

※議決日：12月19日

全賛：全員賛成

議案番号	件 名	審議結果	
議案第64号	令和6年度朝日町一般会計補正予算（第8号）	全賛	原案可決
議案第65号	令和6年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全賛	原案可決
議案第66号	令和6年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	全賛	原案可決
議案第67号	令和6年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	全賛	原案可決
議案第68号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件	全賛	原案可決
議案第69号	朝日町病院事業の設置等に関する条例一部改正の件	全賛	原案可決
追加議案			
議案第70号	令和6年度朝日町一般会計補正予算（第9号）	全賛	原案可決
議案第71号	令和6年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全賛	原案可決
議案第72号	令和6年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第4号）	全賛	原案可決
議案第73号	朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件	全賛	原案可決
議員提出議案第4号	朝日町議会の個人情報の保護に関する条例一部改正の件	全賛	原案可決
議員提出議案第5号	ひきこもり支援の強化を求める意見書	全賛	原案可決
議員提出議案第6号	核兵器禁止条約締約国会議に、日本政府がオブザーバー参加することを求める意見書	全賛	原案可決

10月臨時議会審議結果

※議決日：10月11日

議案番号	件 名	審議結果	
議案第61号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第14号 令和6年度朝日町一般会計補正予算（第7号）	全賛	承認
議案第62号	浜草野地内工場用地造成工事請負契約締結に関する件	全賛	原案可決
議案第63号	朝日町文化体育センター第1体育館改修工事請負契約締結に関する件	全賛	原案可決

常任委員長報告

総務産業常任委員会

議会から付託されました3案件について、可決すべきものと決しました。

陳情第5号 核兵器禁止条約締約国会議に、日本政府がオブザーバー参加することを求める意見書採択の陳情につきましては、採択すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の意見・要望がありました。

新年度予算の編成にあたっては、朝日町の豊かな自然、文化や農林水産資源を有効活用した産業振興を推進し、喫緊の課題である人口減少対策に鋭意努力されたい。

民生教育常任委員会

議会から付託されました4案件について、可決すべきものと決しました。

陳情第4号 「ひきこもり基本法制定についての陳情書」につきましては、採択すべきものと決しました。

議長交際費

項 目	R 6.10.1～12.31		R 6 年度累計	
	件 数	支出金額 (円)	件 数	支出金額 (円)
祝 儀 ・ 寸 志	7	135,900	17	231,260
香典・生花・見舞	0	0	2	20,000
土 産 ・ 贈 答	0	0	1	14,300
負 担 金 ・ 会 費	7	101,000	13	172,500
懇 談 会	0	0	0	0
餞別・激励・協賛金	1	5,000	4	20,000
そ の 他	0	0	0	0
合 計	15	241,900	37	458,060

議会日誌 (10～12月)

10月

11日：議会運営委員会、臨時議会、全員協議会
 15日：黒部川治水同盟中央要望
 17日：新川広域圏関係市町議会議員研修会・体育大会
 18日：議会だより編集委員会
 28日：議員協議会
 31日：下新川海岸整備事業促進議員連盟中央要望

12月

5日：12月議会定例会（～19日）
 9日：議会運営委員会
 16日：総務産業常任委員会
 17日：民生教育常任委員会
 19日：議会運営委員会

11月

3日：関西朝日会総会
 5日：議会運営委員会、町村議会議長協議会
 8日：糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会
 13日：町村議会議長会全国大会・豪雪地帯町村議会議長全国大会
 16日：議会報告会
 22日：全員協議会、議員協議会
 27日：富山・岐阜・長野3県遭難防止対策協議会連絡会議
 29日：議会運営委員会

代表質問



各議員の質問録画映像は二次元コードからアクセス！

質問①

LoCoPiあさひまちの加入状況と活用について。

みんなで
未来！
課長

利用登録者数は11月末現在2,439人であり、年代別の最低が30歳～39歳で5.7%、最高が60歳～69歳で15.9%である。主に見守りサービスを利用の若年層と高齢者の利用登録が進んでいる。高齢者は町内のタッチスポットを巡るため外出が増え、若年層は子どもの帰宅時間の目安、外出時のおおよその居場所が分かり安心であるなど感想をいただいている。全国各地からの注目度が高く視察が続いている。7月に河野前デジタル大臣、9月には新藤前経済再生大臣が視察され、大変高い評価をいただいている。



大井 光男
【一步会】

再質問

高い評価を受けた事業だが、利用率の伸びが少ない。課題は何か。

みんなで
未来！
課長

なかなか住民に溶け込まない、なじまないというところは、デジタルを使った取り組みが難しいというイメージを持っているのかと思っている。デジタル端末の学びの機会を開催し参加人数は延べ600人強となっている。これからもこのような取り組みを行っていきたいと思っている。

質問②

あさひまちプレミアムコイン発行事業について。

みんなで
未来！
課長

町内の消費喚起と経済循環を促進するために、あさひまちコインを現金チャージする際10%のプレミアムを付与する。開始時期は令和7年2月中旬から3月31日までとし、5月31日を使用期限とする。上限は5万円とし、上限内であれば、制限なく繰り返しチャージでき、その都度プレミアムコインを付与する。
町としては、より町の活力を高めたいと考えている。

再質問

地域内経済循環をするには、プレミアムコインの期限を1年間に延ばせないか。

みんなで
未来！
課長

全体の事業費は5,000万円を想定し10%のプレミアムは500万円である。仮に1年間で換算すると3,000万円のお金が必要となり、町の財政とか実際にどれだけの利用があるかわからないので、まずは地域内経済循環にどれだけ寄与できるか実証する機会として取り組みたい。

意見

町内の商店で一般的に消費者が使うところ、一番消費者が使う加入していない店舗などが、双方がマッチングして初めて成功すると思うので今後検討していただきたい。

問.. L O C O P i あさひまちの加入状況は
答.. 利用登録者は11月末現在で2,439人



その他の質問

- ☆マイナンバーカード利活用について
 - ・中学生卒業祝い金給付事業について
 - ・マイナ保険証について
- ☆用排水路の安全管理について
 - ・事故防止対策について

- ☆町の将来に向けた町づくりについて
 - ・人口予測に基づいた公共施設のあり方について
- ☆あさひ総合病院の経営状況について
 - ・令和6年度の決算見込みについて
 - ・令和7年度的主要な取り組みについて

質問①

富山大学附属病院との寄附講座により、現在、内科医師2名があさひ総合病院に常駐して診療体制の拡充を図られているが、令和7年度以降も同病院との寄附講座は開設されるのか。



由井 崇
【青雲】

町長

寄附講座教員である医師は、富山大学附属病院の第1内科から1名、総合診療科から1名の計2名構成となっており、令和7年度以降も同様の体制で、大学病院側におおむね了承を得ている。

設置期間は令和7年度から9年度までの3年間とし、これまでと同様に、あさひ総合病院で不足する内科診療を寄附講座の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献することや地域医療を通して将来に向けた医療人材を育成することを目的としている。

町としても、寄附講座を更新することで、引き続きあさひ総合病院が地域住民への必要な医療を提供できる体制の構築に寄与するものと考えている。

質問②

身寄りのない高齢者に対する支援の在り方について検討すべき段階に来ているのではないか。

健康課長

生涯未婚率の増加、家族関係の希薄化等により、いざというときに頼れる親族がいない高齢者が増えることが見込まれており、今までは家族や地域で担ってきた支援にどう対応していくか、憂慮すべき課題である。

身寄りのない高齢者は地域との関係性が希薄になりやすいという問題もあり、地域での見守り活動を通して、より早期に必要な支援につなげることができるよう、啓発活動を行う必要があると考えている。

町では、民生委員協力のもと、在宅で単身生活をしている65歳以上のひとり暮らし高齢者及びおおむね75歳以上の高齢者のみ世帯を登録し、緊急連絡カードを作成することで、家族や協力員の連絡先を把握し、緊急時に本人に代わり金銭的な保証や意思決定、身柄の引き受けなどの対応がスムーズに行えるよう取り組んでいる。

地域包括支援センターでは、次年度から各地区に呼びかけ、終活について考えてもらう機会を設けたいと考えており、家じまいや墓じまいなど、税や空き家、墓地に関する町の担当職員も同行し、財産管理、相続、成年後見などについて、エンディングノートを活用し、より具体的に周知を図っていきたいと考えている。

問.. あさひ総合病院と富山大学附属病院との寄附講座について
答.. 令和7年4月から改めて更新予定



その他の質問

☆あさひ総合病院について

- ・マイナ保険証への対応について
- ・年末年始の対応について

☆空き家問題について

- ・所有者のいない空き家について
- ・空き家の除却について

☆高齢者施策について

- ・認知症施策推進基本計画と町の取り組みについて

代表質問

質問①

令和5年度の朝日町沖での養殖試験の結果は条件が良く、きれいで、良質な昆布との高い評価を受けている。地場産品の高付加価値化やブランド化に向けての事業推進について伺う。



加藤好進
【グループ22】

農林水産
課長

令和6年5月に、採取されたがごめ昆布については、県の研究員からは、外海である朝日町沖の条件は、潮の流れがあり、よどんでいないということで、大変きれいで良質な昆布となったと好評を得たことから、令和6年度は日本財団の助成制度を利用して規模を拡大し、養殖実験を継続している。現在は試験段階ではあるが、今後本格化するためには、朝日町漁協として検討、解決すべき課題もあり、町としては、春の養殖試験結果に期待しつつ、本格的に次代に継承できる新たな漁業として養殖事業に取り組めるよう、また地域特産物としてブランド化できるよう、関係機関と連携し支援していきたいと考えている。

質問②

当町では、現在8件が特定空家に認定され、時間の経過とともに老朽化が進み、倒壊の危険性もある。地域住民の安心・安全、生活環境を守るために、計画的に代執行を進めていく必要があると思うが、町の考えを伺う。

住民・
子ども
課長

8件のうち、すでに倒壊したものやそれに近い状態の家屋が3件あり、それを除いた5件についても、認定から年月が経ち、老朽化が進んでいる。特定空家の所有者等に対して、周辺の環境を保全し危険な状態を改善するよう複数回にわたって指導、助言を行ってきたが、建物の取り壊しをされた所有者は一部にとどまっている。現状の改善を図るため、町では、緊急度の高い特定空家について除却を進めることが必要であると考えており、先頃、朝日町空家等対策審議会に対して計画的に除却を進めることを諮り、了解を得たところである。今後、危険な空き家について除却を進め、地域住民の安心・安全を確保していきたいと考えている。



問.. がごめ昆布地場産品のブランド化に向けて
答.. 地域特産物としてブランド化できるよう、
関係機関と連携し支援したい



その他の質問

☆町政運営について

- ・「103万円の壁」と新年度予算の影響について
- ・泊駅バリアフリー化の推進について

☆産業振興について

- ・企業誘致体制の強化について

☆人口減少社会対策について

- ・関係人口の創出と移住について

☆福祉について

- ・社会福祉協議会の運営について
- ・防災介護士の資格取得について

☆学校教育について

- ・不登校やいじめ対応について

質問①（河川整備と有害鳥獣対策について）

熊やイノシシは電気柵を設置できない川沿いから住居地に侵入すると言われ、河川に雑木や雑草が繁茂していると格好の隠れ家となるため、河川の災害対策と有害鳥獣対策を兼ねて対策を講ずる必要がある。

富山県が管理する各河川の土砂除去と雑木や雑草の伐採、刈り取りによる整備について伺う。



西岡 良則
【未来】

建設課長

二級河川を管理する県では、定期的に河川巡視を行っており、自治振興会など地元からの要望も加味しながら優先度を検討し、計画的に河川内に堆積した土砂の除去や雑木の伐採などを実施されている。

町としても、河川内に堆積した土砂の除去や雑木の伐採は、早期に河川の流下能力を高め、災害を未然に防止するとともに、有害鳥獣の侵入防止対策にも繋がることから、毎年、町の重要要望事項として県へ要望を行っている。

今後も河川の適切な維持管理を進めていただけるよう、地元要望や熊の出没経路など、町が把握している状況について、河川管理者である県の入善土木事務所へ適宜伝えていく。

質問②（消防団組織再編による消防力の強化と団員確保について）

令和6年度予算で新消防車両が配備されることになっているが、配備される分団と時期について伺う。また、4月からの消防団組織再編に合わせ導入された休団制度の内容について伺う。

消防署長

新しい消防車両が配備される分団は泊分団で、車両は泊分団3号車、常置分団車庫は旧Aコープ横の平柳車庫になる。車両の納入時期は、業者から1月中旬予定と報告を受けており、その後、現車両から無線の移設工事を行い、2月中に入魂式を実施し配備の予定となっている。

休団制度の内容と目的について、消防団員のライフスタイルの変化に対応し、活動が行いやすい環境づくりを目的とし、消防団員の身分を保持したまま、一定期間の活動を休止する制度となっている。休団中の団員が復団したときの階級は、休団を開始した日に属していた階級となっている。



問.. 県が管理する河川の整備について
答.. 町の重要要望事項として県へ要望を行って
いる



その他の質問

☆町政運営について

- ・新年度予算編成について
- ・朝日町総合計画の策定について

☆あさひ総合病院の健全経営について

- ・電子カルテシステムの障害対策について

一般質問

問：あさひまちコインの推進について

答：地域の活力につながる取り組みとして引き続き展開したい

域内経済を循環し、町の活性化に寄与していただきたいと考えるが如何か。

みんなで
未来！
課長

LoCoPiあさひまちは、令和6年1月に開始したマイナンバーカードを活用した新たなデジタルサービスである。特にマイナンバーカードを使い、現金をチャージして決済が可能となる、あさひまちコインの仕組みは、全国でも初めての取り組みである。あさひまちコインの目的は、域内経済循環率の向上であり、デジタル化による省コスト化も見込みながら、その取り組みを進めている。このような取り組みは、人口減少社会における持続可能な行政サービスの新しいスタイルになり得るものと考えており、令和4年度から継続的に進めているDXを手段とした地域課題の解決を起点に、地域の活力につながる取り組みとして引き続き展開したい。

意見

DX施策というのは時間がかかる。例えば10年後には、今60代の方が70代に、70代が80代になる。その頃には、町民の大部分の方がデジタルを不自由なくこなせる時代が来ることが予想される。人口減少、少子高齢化が進む中で、DXは必要不可欠であると考えている。例えば教育DX、医療DXなど「OODX」という先進的な取り組みに今後も果敢に挑戦していただきたい。



寺西 泉



問：通学定期購入費用補助制度の導入を求めたい

答：高校生世代を対象とした新たな支援を検討している

通学定期購入費用補助の施策は、物価高騰や多様な学校生活環境での出費など、特に複数の子どもがいる家庭では影響が大きい。この補助制度は経済的負担を軽減し、子育て世代への支援、移住定住施策、あいの風とやま鉄道利用促進にも効果が期待される。

住民・
子ども
課長

現在、朝日町にお住まいのお子さんや保護者が受けることができる経済的な支援については、妊婦さんへのマタニティパス、出生時の誕生祝い金、3歳まで保育園を利用せず自宅保育をされる方にはおうちで子育て応援事業、保育所の副食費無償、小学校入学時の体操服購入、小・中学校では給食費の無償、そして県内に先駆けて高校生年代までの医療費助成など、多くの支援をしているところである。そのような中で、時代や社会の変化に対応するような支援について必要性を感じているところでもある。

通学定期券の助成についても、高校へ通学する際には、電車やバス、自転車、家族の自家用車など、何かしらの交通手段が必要となっていることは町としても認識しており、高校生世代への支援を研究していたところでもある。その中で、高校生は定期券のみならず、教科書、制服、電子辞書などの購入のほか、今後タブレット端末の自己負担もあると伺っている。

このような状況を踏まえ、町では高校生世代の新生活応援として高校生世代の子を養育する保護者を対象とした新たな支援を来年度の予算に向けて検討している。



吉江 昌宏



問：小・中学校におけるクラス編成の適正規模について

答：一貫校として連携し、人間力形成に支障はない

人間力形成の最も大事な時期である小学校、中学校におけるクラス編成児童数は、どの程度が適正と考えているか。また、あさひ野小学校とさみさと小学校では、児童数に3倍強の違いがあるが、人間力形成上、課題がないのか伺う。

教育長

令和6年度現在、特別支援級を含めた学級数は、あさひ野小学校は8学級、さみさと小学校は14学級、朝日中学校は9学級となっている。朝日町の適正規模については、これまでも各学年で1学級以上の規模としており、1学級当たりの最小人数は示していない。

小規模校のデメリットとしては、人間関係が固定化しやすい。切磋琢磨する環境が少ない。多様な意見を関わり合わせる機会が少ないなどが指摘されている。しかし、メリットとして、一人一人の子どもを全職員で把握・指導できる。きめ細かな指導が可能であり、子どもが活躍できる機会が多い。体験的な学習や校外学習を機動的に行えるなどがある。

こうしたことから、朝日町では、令和3年度から小中連携、令和4年度から保小中一貫教育制度の導入を県内で初めてスタートした。小中連携教育等の導入により、一定の集団活動の場を確保し、多様な考えに触れる機会を確保するとともに、他校との合同授業や教育活動を活用し、児童・生徒同士の交流を深め、切磋琢磨できる環境を整備することができるよう努めている。

学校規模の大小にかかわらず、一貫校として連携し、教育の質向上に努めており、人間力形成については特段支障がないものと考えている。



清水 真人



問：教育支援センター「あすなろ」の移転とその課題は

答：スペース確保や利便性を考慮し、役場附属棟に移転予定

県教育委員会は、学校や教育支援センターなどの連携による支援の重要性を強調しているが、朝日町にはフリースクールが無く、教育支援センター「あすなろ」が唯一の居場所。地震被害や老朽化対応の方向性は？

教育委員会
事務局長

「あすなろ」のある教育センターは、令和7年度中に役場附属棟2階に移転したい。「あすなろ」のスペースは、1部屋24畳から2部屋34畳に拡大し、保護者相談室としても兼用。役場4階ホールも利用可能で、現在と同様に軽い運動にも対応。

①役場庁舎内で児童・保護者の心理的負担、②移転先選定で重視した点、③町の課題でもある空き家活用の検討は行ったか。

教育委員会
事務局長

①現在と近い場所で、一般の出入りが少ない建物。②指導員や各学校長も部屋の広さ、人目、立地的にも好意的な意見。総合的に役場附属棟が最適と考える。③空き家の活用は検討しなかったが、部屋数・トイレ・炊事場・体を動かせるスペース確保などを考えると難しかったと思う。

「あすなろ」は単なる場所提供ではなく、社会的繋がりを取り戻すための重要な支えとなる場。心理的安心感を確保することが大前提であり、移転先の選定の重視点や、利用の際の動線など安心材料の周知を。



善田 奈緒



一般質問

問：避難所施設にエアコン設置が必要なのは

答：空調設備の整備に、検討・研究したい

避難所での2次被害による関連死を防止する観点からも、避難所施設にエアコン設置が必要なのは。



石原孝之



総務政策
課長

指定避難所における快適な環境の確保は、災害時の住民の生活の質を大きく左右する重要な課題と捉えている。町ではこれまで、指定避難所の開設・運営に関するマニュアルの見直しや、避難所における物資の備蓄量の増量など、災害時の対応力の強化に努めてきた。

現在、国の令和6年度補正予算において、避難所となる公立小中学校等の体育館などへの空調設備の整備を加速するため、新たな交付金を設ける予定であると通知を受けたところである。この交付金の対象となる、さみさと小学校とあさひ野小学校へのエアコンの設置については、現段階においては実施設計などの具体的な整備計画が整っていないこともあり、今回の補正予算での対応は難しいものと考えている。

今後は、国の交付金制度の動向を見極めながら、有利な財源を確保することを検討するとともに、簡易な空調設備の設置も含め、教育委員会とも情報を共有しながら、指定避難所の空調設備の整備に、検討・研究していきたいと考えている。

掲載以外の一般質問一覧

寺西 泉 議員

- ☆人口減少社会への対応について
 - ・人口減少に対する町民の意識について
 - ・「仮称朝日町人口減少対応会議」の設置について
 - ・課題を可視化し、町民の理解を得たうえでの長期的な視点に立った施策について
- ☆DX・GX施策を通したまちづくりについて
 - ・LoCoPiあさひまちコイン施策の推進について
 - ・ペロブスカイト太陽電池によるまちづくり施策の推進について

吉江 昌宏 議員

- ☆町民の健康について
 - ・带状疱疹ワクチンの助成制度について
 - ・学校・保育所全職員に対するアレルギー対応研修の実施について
- ☆消防団の人員確保と強化について
 - ・消防団の準中型免許取得補助について

清水 真人 議員

- ☆上下水道の耐震化について
 - ・下水道の耐震化について
 - ・簡易水道組合連合会加盟組合の耐震化について
- ☆受託農地の管理について
 - ・未収穫田について

善田 奈緒 議員

- ☆誰一人取り残されない学びの保障を目指した教育支援のあり方について
 - ・校内スペシャルサポートルームとの連携について
 - ・近隣施設である消防署および緑地帯の活用について
- ☆コミュニティで創る学びあいプラットフォーム「みんなび」について
 - ・みんなびの実施状況及び成果と課題について
 - ・こども家庭庁モデル事業の評価と引き継ぎについて
 - ・今後の「みんなび」の方針について
- ☆子どもたちの健康づくりに関する取り組みについて
 - ・徒歩通学の機会減少について
 - ・リモート・ドロップ・オフ制度の導入について

石原 孝之 議員

- ☆安心・安全な暮らしを守るまちづくりについて
 - ・闇バイトの注意喚起について
 - ・アドボケーターについて
- ☆町の活性化について
 - ・メタバース婚活事業について
 - ・新川高校生考案のウニのリエットについて
- ☆教育DXについて
 - ・日本ICT教育アワードについて

議会の話題

新川広域圏関係市町議会議員 研修会・体育大会

10月17日に、新川広域圏関係市町議会議員研修会及び体育大会が行われました。アゼリアホールで行われた研修会では、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の議員が集まり、富山県知事政策局成長戦略室カーボンニュートラル推進課長の前山巖氏を講師として、「カーボンニュートラルと自治体の取り組み」という演題でご講演いただきました。気候変動による影響や地球温暖化の課題、GX（グリーントランスフォーメーション）の取り組み、県や市町村の取り組みについて学びました。

また、入善町の青野自然公園パークゴルフ場で開催された体育大会では、パークゴルフを通じ、他の議会議員と懇親を深めました。朝日町は、万年4位でしたが、今回は2位と健闘しました。

糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会

11月8日に、糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会が町内で開催されました。協議会では、「生成AIパイロット事業」の取り組みについて、朝日町の木村教育長よりご講演いただきました。

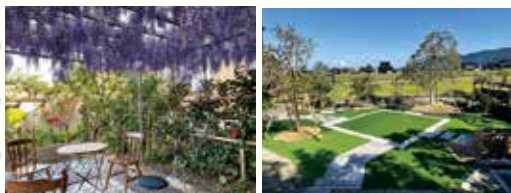
皆さん興味深く講演を聴き、活発な意見交換を行いました。



議員の部屋

大井 光男 議員 (3期)

毎日のように野に川に山を駆けずりまわっていた幼い頃があるから今の自分があるように思います。自然の庭が好きで庭を我流で造り始めてから早30年になりました。自然環境が整うと小鳥達が巣をかけ子育てをします。その姿は朝日町の子育てに相通ずるものがあるように感じます。昨年から、友達の協力を得て造っていた季節の花木を愉しむ「誰でもが集える〇〇の場」が、今年完成予定(?)です。是非遊びに来てください。



作成中の庭

スポーツも大好き人間で、ビーチボールは30代から地区でチームを結成し、仲間に恵まれて全国大会で優勝する等、当時は強豪として君臨していましたが、最近ではヒスイカップで県内外の仲間と会うのが楽しみになっています。これからも、体力・気力の続く限り生涯スポーツとしてやわやわと頑張っていきたいと思います。



ビーチボールを愉しむ大井議員

加藤 好進 議員 (4期)

日本では、縄文時代より宝飾品としてヒスイが使われていました。2016年には、ヒスイが日本の国石となり、全国各地からヒスイハンターがヒスイ海岸を訪れています。

ヒスイとの出会いは、子供たちとのヒスイ探し体験で、まさに人生の中での特別な瞬間でした。その美しさと神秘的な輝きに心を奪われ、一瞬でその魅力に引き込まれ20年をむかえました。無数に散らばっている石はまるで宝石のように魅力的で、たとえヒスイでなくとも、拾ったあなたが「綺麗だな」「欲しいな」と感じた石が、その石とあなたの運命です。

「運命の出会い」を、ヒスイ海岸で体験してはいかがですか。



加藤議員が採取したヒスイ

編集後記

9月に委員の交代があり、初めて編集に携わることになりました。分かりやすさや親しみやすさを重視すると、文字数が減り議会での議論を伝えきれないというジレンマを抱えつつ、試行錯誤しながら取り組んでいきたいと思っています。読んでくださっている皆さんの感想や意見をぜひお寄せください。

さて、令和7年度で終了する第5次総合計画に代わり、新たに第6次総合計画が策定されます。この策定にあたり、「朝日町みらい会議」が3回にわたり開催され、各回とも50名前後の参加がありました。総合計画は今後10年の町づくりを決定づける重要な計画です。今後も皆さんと共に、どんな10年後を描くのか、考えていきたいと思っています。(善田)

◇議会だより編集委員

石原 孝之 善田 奈緒
水野 仁士 吉江 昌宏
大井 光男